

LIBERAL&DEMOCRATIC

# 自由民主

発行所  
自由民主党本部  
郵便番号 100-8910  
東京都千代田区永田町1-11-23  
電話 東京 03(3581)6211(代表)  
定価 1部 108円(税込み)  
<毎週火曜日発行>



自由民主党ホームページ URL <http://www.jimin.jp/>

## 【号外】衆議院議員 大野敬太郎 特集号

### 国際秩序の維持に向けて

防衛大臣政務官  
大野敬太郎(香川三区)

世界の秩序が揺らいでいるように見える。日本は少なくとも我が国に直接及ぶ危機には万全を期している。一方で、国際秩序の維持の為に、日本は国際社会とどう協調し、どう貢献すべきかを、前のめりにならずにバランス感覚をもって考えるべきである。今回は香川三区の大野敬太郎氏に聞いた。



辞令を受け初登庁する大野氏

■初当選から五年以上経ちました。まずは抱負を。  
◇大野：これまで全力で駆け抜けてきました。例えば昨年は、地方創生に資する活動をする民間団体への支援策や農業基盤の確立、また知的財産・イノベーション・宇宙政策などを、党の政務調査会に設置された種々の委員会の事務局長として取りまとめ、政府の方針に反映させました。議員外交にも力を注ぎました。  
昨夏からは防衛大臣政務官を拝命し、現在は防衛省に詰めて仕事をしています。腰を据えて取り組む政策課題もありますが、発生する事態に対処する仕事もあるので、とにかく任期中はできるだけ専念しようと思っています。その後は少し落ち着いた仕事をしたいですね。

■防衛省に詰めてとのことですが率直な感想をお聞かせください。

◇大野：大変感慨深いものがありますね。まだ学生の時分、テレビで湾岸戦争の惨状を見たのですが、かなり衝撃を受けました。考えさせられましたね。国とは何だろうと。それで、後に親父が防衛庁長官に就任した時に、自ら進んでこの世界に飛び込んだ。戦争は誰だって嫌ですからね。防衛省に勤務するのは十数年ぶりなんです。



外交防衛委員会で答弁



小野寺五典大臣の現場視察と記者会見に同行



PKOに関する国際会議にて発言する様子

■十数年前との違いは感じますか？  
◇大野：劇的な変化です。安全保障環境が全く異なり、対処しなければならぬ課題が断然に多くなっています。一方で、やはり感じるのは自衛官の凛々しさと清々しさ、そして防衛省職員の本気を守る思い。ここだけは、今も昔も全く変わっていません。彼ら彼女らを守るのも我々政治家の使命です。

■どのような仕事をされているのですか？

◇大野：皆さまのご不安は、やはり北朝鮮の動向だと感じます。大臣を筆頭に万全の態勢で対処しています。しかし、対処ばかりではなく、本来は抑止力をしっかり働かせて撃たせないことが重要です。

さらに言えば、北朝鮮だけでなく世界の秩序が揺らいでいるように見えます。日本として世界の秩序をどのように維持し強化していくのか、そのために何ができるのか、といった本質的な議論も行っていきます。また一方で、キオオい話ばかりではなく、人口減少社会にあって自衛隊員の人材をどのように確保していくのか、省人化・効率化をどう図っていくのか、あるいは防衛装備品をどのように効率よく調達していくのか、といった課題にも取り組んでいます。



総理官邸での大臣政務官会議

■心がけていることはありませんか？

◇大野：権力に対する謙虚さということと、それから組織全体が国民を守るということ以外に、社会とどう関係している、どう好循環を生んでいけるのか、という視点を常に持つようにはしています。

■大変だと思えますが頑張ってください。

◇大野：ありがとうございます。実はこれまで皆さんから頂く声に、議員って何をやっているのか分からない、というのがありました。確かに、テレビ中継の予算委員会で不毛な言い争いをしているイメージしかないのだと思います。議員の仕事は、法律を作ること、と学校で習ったと思いますが、それはほんの一部。一番大きいのは、価値や事業自体を自らが作って行政を動かしていくことです。行政に入ればその事業の執行もやります。多難な時代、しっかりと負託に応えていきたいと思っています。



日米共同防災訓練に参加の日米隊員を激励



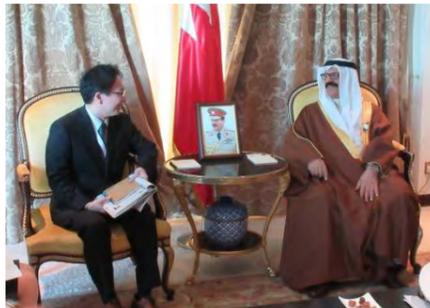
陸自ヘリでの移動中に状況を聞く



米第五艦隊司令官との意見交換



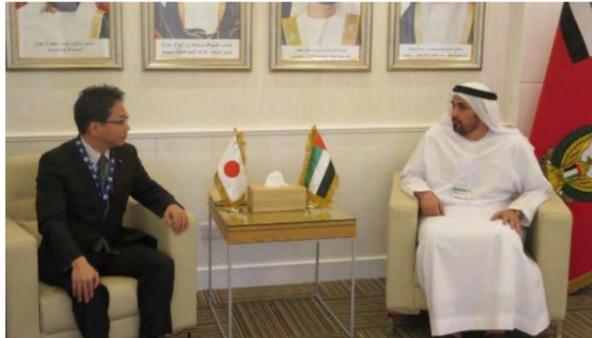
訓練の説明を受ける大野氏



バーレーン国防大臣との会談



UAE建国記念日にて在京大使と



ドバイにて国防次官と中東情勢の意見交換



国産最新輸送機C-2(後方)について海外取材を受ける



中東安全保障国際会議にて意見を述べる



大臣と南極観測船しらせの乗組員の出発式



総理・官房長官と第4次安倍内閣大臣政務官



防衛省の幹部会議

### 大野敬太郎 profile



### 大野敬太郎 WEB

<https://keitaro-ohno.com>

●昭和43年11月1日生まれ。申年蠍座O型。坂出付属中、丸亀高校、東京工大、同大学院修士、東京大学博士号取得、富士通研究所、東京大学産学官連携研究員、米国カリフォルニア大学バークレー校客員フェロー、防衛庁長官秘書官などを経て、2012年衆議院議員初当選(3期目)。

●現在、防衛大臣政務官。衆議院では安全保障委員会に所属。

●これまで、財務金融・中小企業政策・科学技術イノベーション・知的財産・宇宙海洋開発・航空政策・農業・社会的事業など多くの政策立案に従事。議員外交にも注力してきた。

●連絡先：【丸亀事務所】0877-21-7711【観音寺事務所】0875-23-1231【東京事務所】03-3508-7132【公式WEB】<https://keitaro-ohno.com/>

■編集後記：安全保障環境が厳しくなっている中、対処にあたる防衛大臣の激務が続いている。大野氏はその大臣を支える立場だ。大臣が不在の時、代わりに役所の司令塔を務めなければならぬ。必然的に、役所を離れることも、地元に戻ること、ほとんどできていないという。大野氏は、「それは地元には帰りたいですよ」と笑いながら額に掌を当てたが、やがて目を細め、「仕事をするために国政に送って頂いたのですから、仕事で恩返しするのが基本です。ただ、顔を出さなくなったらね、とお叱りを頂くこともありま

す。不徳の致すところですよ」と。全方位のプレッシャーの中、静かに着実に前進する大野氏の眼差しから、国を守る重責の意味を感じた。